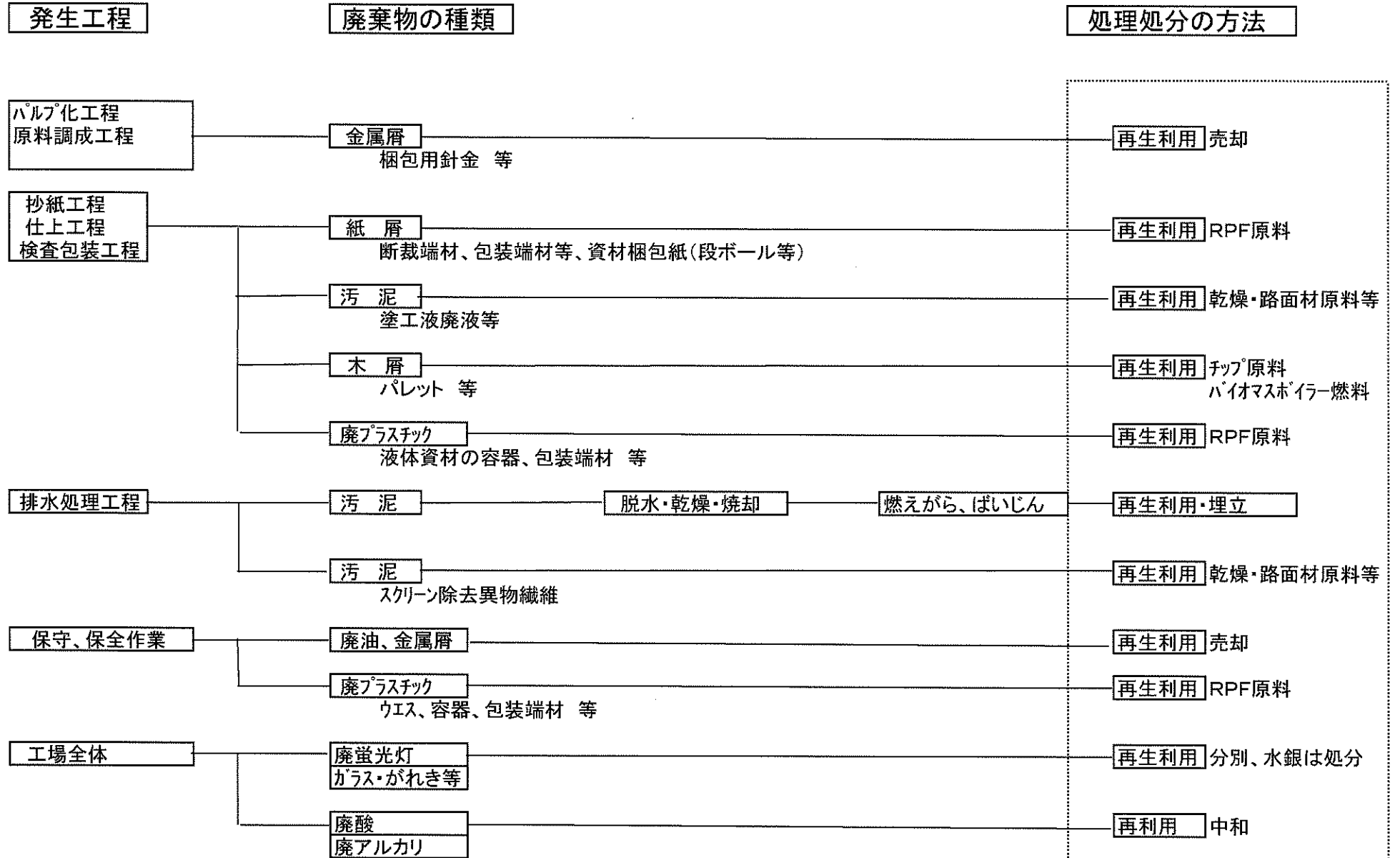


| | |
|--|--------------------------|
| 産業廃棄物処理計画書 | |
| 令和 4年 6月 10日 | |
| 静岡県知事 川勝 平太 殿 | |
| 提出者 | |
| 住所 静岡県富士市原田506番地 | |
| 氏名 日本製紙パピリア株式会社原田工場 | |
| 取締役工場長 藤井 政喜 | |
| 電話番号 0545-52-4060 | |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。 | |
| 事業場の名称 | 日本製紙パピリア株式会社 原田工場 |
| 事業場の所在地 | 静岡県富士市原田506番地 |
| 計画期間 | 令和 4年 4月1日から令和 5年 3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ① 事業の種類 | E製造業 : E14 パルプ・紙・紙加工品製造業 |
| ② 事業の規模 | 生産金額 7,597百万円 |
| ③ 従業員数 | 136名 |
| ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙①の通り |

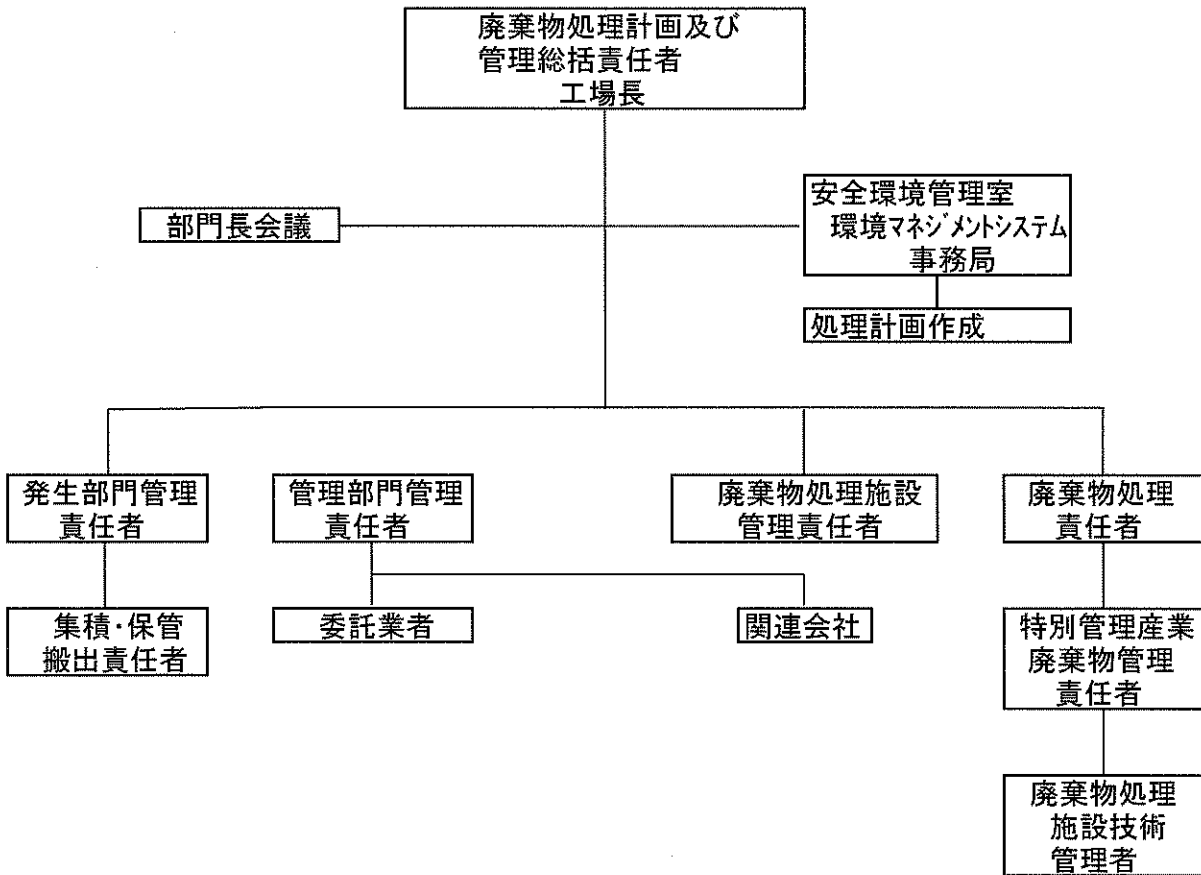
廃棄物処理フロー



| 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 | | |
|-----------------------|---|---|
| (管理体制図) 別紙②の通り | | |
| 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | |
| ①現状 | 【前年度（令和3年度）実績】 別紙③の通り | |
| | 産業廃棄物の種類 | |
| | 排出量 | t |
| | (これまでに実施した取組) | |
| ②計画 | 【目標】 別紙③の通り | |
| | 産業廃棄物の種類 | |
| | 排出量 | t |
| | (今後実施する予定の取組) | |
| 産業廃棄物の分別に関する事項 | | |
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙③の通り | |
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙③の通り | |

別紙②

廃棄物管理組織図



別紙③

●産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 【前年度(令和3年度)実績】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 燃えがら | 廃プラ | 木屑 | 紙屑 | ガラス・がれき | 廃蛍光灯 | 廃酸 | 廃アルカリ | 合計 |
|----------|--------|------|-----|----|-----|---------|------|-----|-------|--------|
| 排出量(t) | 35,543 | 260 | 19 | 45 | 357 | 2 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 36,227 |

(これまでに実施した取組)

- 汚泥 流失原料の削減を図った。
・薬品添加等により、歩留まり向上を図った。
・極力抄上を行い、ブロークの放流、網下原料の放流回数を減少させた。
・職場の4Sを推進し、製品への異物混入を防止を図った。
- 廃プラ 原材料、製品の包装資材を見直した。
- 木屑 パレットは木製→プラスチック製に随時変更した。
- 紙屑 製造部門担当者のスキルアップを図り、工程異常発生件数、ケアレスによる不良品の発生を減少させた。
中間包装紙等は極力再利用した。資材梱包紙(段ボール等)は分別収集し、古紙として回収した。
- ガラス・がれき 数量をまとめてから処分。
- 廃蛍光灯 LED化が進み、発生量が少なくなった。令和3年度は数量がある程度まとまった為、処分を行った。

②計画 【目標】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 燃えがら | 廃プラ | 木屑 | 紙屑 | ガラス・がれき | 廃蛍光灯 | 廃酸 | 廃アルカリ | 合計 |
|----------|--------|------|-----|----|-----|---------|------|-----|-------|---------|
| 排出量(t) | 31,988 | 234 | 18 | 41 | 320 | 2 | 0 | 0.1 | 0.2 | 32603.3 |

(今後実施する予定の取組)

- 汚泥 流失原料の削減を図る。
・ブロークの放流、網下原料の放流回数を減少する。
・職場の4Sを推進し、製品への異物混入を防止する。
- 廃プラ 原材料、製品の包装資材を随時見直ししていく。
- 紙屑 製造部門担当者のスキルアップを図り、工程異常発生件数、ケアレスによる不良品の発生を減少させる。
中間包装紙、紙管等は極力再利用する。
- ガラス・がれき 数量をまとめてから処分。
- 廃蛍光灯 LED化が進み、発生量が少なくなった。数量がまとめてから処分。

●産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

取組

- ①廃棄物の搬出、集積、保管場所について一覧表に整理、各課に掲示した。
分別について写真入りで注意を喚起した。
ゴミ袋に部署、排出者を記載するようにした。
- ②各現場に分別用容器を設置した。
- ③集積保管場所には、廃棄物の種類、責任者名を表示した。
- ④委託業者が搬出する時は、責任者が立ち合った。
- ⑤廃プラに関して、透明シートとその他を分別し経費の削減を図った。

②計画 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

取組

- ①廃棄物の搬出、集積、保管場所について一覧表に整理、各課への掲示、分別の旨
- ②各現場に分別用容器を設置する。
- ③集積保管場所には、廃棄物の種類、責任者名を表示する。
- ④委託業者が搬出する時は、責任者が立ち合う。
- ⑤紙屑の処分を見直し、有価で再利用できる物を増やし、廃棄物量を削減する。

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|----------------------|---|----------|-----|
| ①現状 | 【前年度（ 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | — t | — t |
| | (これまでに実施した取組) — | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | — t | — t |
| | (今後実施する予定の取組) — | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（ 令和3年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 35,494 t | t |
| | (これまでに実施した取組) 運転管理を行い安定化を図った | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 31,944 t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 設備の点検を定期的に行い安定的な操業を図る。 | | |

(第4面)

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|---|-----|-----|
| ①現状 | 【前年度（ 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | — t | — t |
| | (これまでに実施した取組) — | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | — | — |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | — t | — t |
| | (今後実施する予定の取組) — | | |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（ 令和3年度）実績】別紙④のとおり | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) | | |

| | | | |
|---------------|---------------------------|---|---|
| ②計画 | 【目標】別紙④のとおり | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| (今後実施する予定の取組) | | | |
| ※事務処理欄 | | | |

別紙④

●産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 【前年度(令和3年度)実績】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 燃えがら | 廃プラ | 木屑 | 紙屑 | ガラス・がれき | 廃蛍光灯 | 廃酸 | 廃アルカリ | 合計 |
|------------------------------|----|------|-----|----|-----|---------|------|-----|-------|-------|
| 全処理委託量(t) | 49 | 190 | 19 | 45 | 357 | 2 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 662.6 |
| 優良認定処理業者への処理委託量(t) | 49 | 19 | 17 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0.2 | 0.3 | 87.5 |
| 再生利用業者への処理委託量(t) | 49 | 172 | 19 | 45 | 357 | 2 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 644.6 |
| 認定熱回収業者への処理委託量(t) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(これまでに実施した取組)

汚泥 PS焼却炉の冷却塔、スクラバーから排出していた煤塵をSMへと戻して、埋立への量を削減した。

廃プラ RPF原料として有効利用した。

木屑 木製廃パレットをパルプ原料(チップ)または、バイオマス燃料として有効利用した。

紙屑 ①戻紙使用量を増加した。

②RPF原料としての有効利用した。

ガラス・がれき 数量をまとめてから委託。

廃蛍光灯 LED化が進み、発生量が少なくなった。数量をまとめてから委託。

②計画 【目標】

| 産業廃棄物の種類 | 汚泥 | 燃えがら | 廃プラ | 木屑 | 紙屑 | ガラス・がれき | 廃蛍光灯 | 廃酸 | 廃アルカリ | 合計 |
|------------------------------|----|------|-----|----|-----|---------|------|-----|-------|-------|
| 全処理委託量(t) | 45 | 171 | 18 | 41 | 320 | 2 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 597.4 |
| 優良認定処理業者への処理委託量(t) | 45 | 21 | 18 | 5 | 0 | 2 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 91.4 |
| 再生利用業者への処理委託量(t) | 45 | 171 | 18 | 41 | 320 | 2 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 597.4 |
| 認定熱回収業者への処理委託量(t) | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t) | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(今後実施する予定の取組)

全体 優良認定処理業者への委託比率向上を図る

廃プラ RPF原料として有効利用する。廃プラスチックパレットは有価での再利用を検討する。

木屑 木製廃パレットをパルプ原料(チップ)または、バイオマス燃料として有効利用する。

紙屑 ①戻紙使用量を増加する。

②RPF原料としての有効利用する。

③紙屑の処分を見直し、有価で再利用できる物を増やし、廃棄物量を削減する。

ガラス・がれき 数量をまとめてから委託。

廃蛍光灯 LED化が進み、発生量が少なくなった。数量をまとめてから委託。